町のたより
発行所
愛媛県喜多郡
長濱町役場
印刷所　岸本印刷所

# 「二万町民の幸福のために」と

## 末永町長就任

昭和三十年町村合併により新長浜町呱々の声をあげてより早くも四ケ年、この間長浜町長として新町建設の基礎づくりにつくされた末永町長は去る選挙において再び長浜町長に就任ときまり更に四ケ年私たちの町政をお願いすることになりました

次に再度町長に選はれました末永町長就任の御挨拶を述べます

### 末永町長挨拶

不肖このたび、合併後第二期目の長浜町長として今後四ケ年間、再び町政を担当することになりましたことは全く光栄の至りでございます。

顧みますと昭和三十年、町村合併によつて新しい長浜町が、高く大きい理想のもとに発足致しましてより既に四年、光陰は矢の如しと申しますが日々のたつのはまことに早いもので、新町の初代町長として町民各位の心からなる御同情と御声援とにより今日に至りましたことを、茲に改めて感謝するものでございます

浅学非才の身にとつて、新町建設と云う身に余る難問題に取つ組みまして丸四ケ年、私と致しましては誠心誠意、町民の皆様に多少でも喜んで頂ける町政を行うべく、粉骨砕身努力してまいつたつもりでございます。

お蔭で新町建設の基礎も漸く軌道に乗り、新町の前途も洋々としてひらけ行く感をしみ〴〵と味い得られますことは、まことに御同慶に堪えないところでありますが、これひとえに皆様の絶大なる御援助の賜でございまして、重ねて厚く厚く御礼申上げます。

さて「新しい町づくり」はこゝに第二段階に入りました。

私と致しましては日々新しく日々に新しい心を持ちまして、地財法適用上における町財政の再建を目ざしつゝ新町建設の基礎づくりを、更に一段と強固ならしめたいと、己むに己まれぬ一大決心を堅持しているものでございます。

旧に倍する町民各位の御支援により、町行政を通じて民主政治の本質を生かしより一層の努力を次の点に払つて、円満明朗な町政の実現を図る覚悟でございます。

即ち

一厳正中立の立場により、二万町民のための清潔な町政の実現を図り度い

一速に地財法適用下の制約を脱し、自主独立の町政を確立し、町民各位の諸種の負担を軽減したい

一港湾改修の早期完成と商工、農林及び水産の各部門の発展を図り、町内各地の立地条件に即した公共事業を促進したい

一町内各学校の施設内容の改善充実を図り、学校教育の画期的発展を図りたい

一社会教育の強化、特に中央公民館の建設についての財政措置に最大の努力工夫を払つて、その早期実現を図るとともに、町民の文化向上と感情融和とに努めたい

一社会保障の拡充、特に保育所の拡充と、町営住宅の建設により、住宅不足の緩和を図りたい

以上簡単に、今後の町政に対する私の抱負を項目的に申し述べましたが、要はわれ〳〵のこの大長浜町が単に形式的にその行政区域を拡大したと云うことだけではなく、この大きく拡がつた土地と自然とに、統一された新しい血を通わす町政の実現を期することゝ思います。

二万町民の皆さん、私のこの非願達成のため何分の御支援と御協力とを衷心より御願いする次第でございます。

粗辞でございますが、以上をもつて就任の御挨拶と致します。

# 初の臨時町議会　議会の構成なる

## 議長　赤穂直城氏　副議長　津田利廣氏　に決定

副議長　津田利広氏

議　長　赤穂直城氏

去る町議選挙において、私等の代表としてえらんだ町議会議員による初議会が二月五日招集され正、副議長の選任をはじめ、議員常任委員、議会選出監査委員の選任などが行われ議会が構成された。

### 就任挨拶

町村合併による新長浜町発足以来第二回目の初議会におきまして私共この度議長並びに副議長に御推ばん頂き当選の栄を担いましたことは、町議会議員各位はじめ町民皆様の絶大なる御支援の賜ものでありまして只々感激で胸が一パイでございます。

何分にも浅学非才、その器でもなく果してこの重責を果し得るや甚だ疑惧致しておりますが、幸に皆様の御支援を得て、本町発展ひいては地方自治進張に微力を尽したい所存で御座居ます。

よろしく御指導御協力を賜りますようお願い申上げまして就任の御挨拶といたします。

長浜町議会議長　赤穂直城
長浜町議会副〃　津田利広

## 町議会構成表

議長　赤穂直城
副議長　津田利広

（長○副委員長◎委員長）

| 委員会 | 委員 |
|---|---|
| 総務委員会 | ◎松本垣生　○富永荘三郎　東豊　本田重太郎　浦上愛明　西村護　山下清雄 |
| 建設委員会 | ◎小西豊己　○浦田定　今村林吾　後藤熊市　濱野公介　松岡武平治　後藤忠雄 |
| 文化厚生委員会 | ◎泉伯　○山崎潮美　二宮邦　紙本徳之助　西田司　笹本恭逸　一宮亀久雄 |
| 産業経済委員会 | ◎日野義満　○戎敏夫　大谷俊男　門田豊市　新谷芳朗　池田登　林日出猪 |

出納会計委員　戎敏夫
議会監査委員　
臨時検査　林日出猪　紙本徳之助　大谷俊男
議員出納会長　今村林吾
議会運営委員　西村護　後藤熊市　松岡武平治　新谷芳朗　西田司　後藤忠雄

★耳の日だけはお静かに
「三月三日と耳の日との関係は……」

陸海空
自衛官募集
受付　3月1日――4月16日
資格　昭和9年7月2日から昭和16年7年1日までの間に生れた者
試験　4月26日～5月10日の間
初任給　6.200円
待遇（衣食住無料支給）
◎外に退職手当諸手当恩給法等の適用あり
その他くわしくは町役場へおたずね下さい

## 交通取締はなぜ必要か

長浜町警部派出所

道路は公のもので誰でも自由に通行が出来なければなりません　道路にものをおいたりすることは禁ぜられ道路を使用するときは許可がいることは皆様もよく知つているはずでありますが実際は店頭等の路上物件放置木材竹材等の道路占用夜間自動車の路上駐車パチンコ店前の自転車等が代表的な交通防害になつております警察も目に当り次第やかましく言つておりますが此の様な事は皆様の御協力なくては到底成果が認めません子供さん方の教育の見地よりも是非御協力して下さい尚罰金はどの位かといゝますと道路無許可占用は一年以下の懲役又は三万円以下の罰金（道路法三二条、百条）交通防害行為は道交法三千円以下の罰金科料（道交法二五条、二九条）となつております

## 「選挙の結果」

町長選挙（一月十八日執行）
投票率　八一％
投票総数九、〇二四票
内無効　五八七票
得票数
当選　八、〇五四票　末永芳朗
三八四票　小田俊与

町議会議員選挙（一月十八日執行）
投票率
第一選挙区（長浜）九〇％
第四選挙区（出海）八五％
第五選挙区（大和）九三％
第六選挙区（白滝）九四％

知事選挙（一月二十八日執行）
投票率　七七％
投票総数八、五七五票
内無効　二八票
得票数
五、四四九　久松定武
三、〇九八　三橋八次郎

| 選挙区別 | 得票数 | 氏名 |
|---|---|---|
| 第一選挙区 当 | 四七七 | 濱田護 |
| 〃 | 四一三 | 西村登 |
| 〃 | 三六一 | 浦田定 |
| 〃 | 三三一 | 池田美 |
| 〃 | 二六九 | 山崎潮 |
| 〃 | 二五八 | 浦上愛 |
| 〃 | 二五三 | 赤穂直 |
| 〃 | 二四五 | 今村林 |
| 〃 | 二一九 | 門田豊 |
| 〃 | 二〇八 | 冨永荘 |
| 〃 | 二〇〇 | 紙本徳 |
| 〃 | 二〇七 | 二宮邦 |
| 〃 | 二〇四 | 奥野公 |
| 第一選挙区 次 | 一八一 | 清水出 |
| 第二選挙区 当 | 無投票 | 大谷俊利 |
| 〃 | 無投票 | 後藤熊市 |
| 第三選挙区 当 | 無投票 | 戎敏夫 |
| 〃 | 〃 | 笹本恭逸 |
| 〃 | 〃 | 松岡武平治 |
| 〃 | 〃 | 後藤忠雄 |
| 第四選挙区 当 | 二三三 | 本谷重太郎 |
| 〃 | 二三三 | 新田伊太郎 |
| 〃 | 一八四 | 村本芳朗 |
| 第四選挙区 次 | 一四七 | 池田正史 |
| 第五選挙区 当 | 三四五 | 小西豊己 |
| 〃 | 三一九 | 二宮邦司 |
| 〃 | 三〇八 | 山田雄 |
| 〃 | 二九九 | 日下清 |
| 〃 | 二七五 | 亀岡政義 |
| 〃 | 二四一 | 日野重雄 |
| 第五選挙区 次 | 一八一 | 本田豊 |
| 第六選挙区 当 | 四一四 | 一宮亀久雄 |
| 〃 | 三二六 | 後藤忠雄 |
| 〃 | 二九八 | 東豊 |
| 〃 | 二八八 | 林猪 |
| 〃 | 二四七 | 泉伯 |
| 第六選挙区 次 | 一四一 | 後藤熊市 |

# 三月農林作業

## 柑橘の剪定

【問】柑橘の剪定時期が近づきましたが本年の剪定はどんな点を注意したら良いでしょうか。

【答】心配した旱魃も思つた程被害がなく四年連続の豊作となつた為、今年の不作を心配して連年軽くなり勝ちとなつている側枝を短縮し次の事項を注意して下さい。

1 新梢が多く出た園、又充実した園は二月中旬から始めて下さい。

2 昨年極端に多く結果した園は三月に入つて始めて下さい。

3 亜主枝の間引や側枝の短縮をする。

4 今年不作の園は新梢を全部残して成房を多く整理し間引剪定を重点にして下さい。

5 密柑園は先づ間伐を行つて下さい。

【問】春肥の施用時期や量は如何でしょうか。

【答】毎年多くの収穫をし品質を良くして市価を高めるにはやはり少々高くついても有機質肥料を多く施すことが良い様です。各代表者で協議して左の通り基準を作りました。

◎施用量

一反当一五〇kg（四叺）

◎施用時期

三月中、下旬

施用したら中耕をして下さい。

【問】三月に行う柑橘の消毒はどの様なものがありますか。

【答】柑橘類では一番大切な癌腫病、アカダニの防除に石灰硫黄合剤加用クロンの撒布は必らず行つて下さい。

▼時期は三月下旬より四月上旬迄ですが個々の園によつて時期をあやまらない様にしないと薬害が出ます

▼濃度は水一八立（一斗）に石灰硫黄合剤五七六cc（三合二勺）クロン五六、三瓦（十五匁）展着剤五cc

| 果樹名 | 適応病名 | 使用薬剤量（水一八立当り） | 撒布時期 |
|---|---|---|---|
| 梨 | 黒斑病 | 硫黄合剤二立五七〇cc約（一升四合） | 三月中旬 |
| 梨 | 黒星病 | 〃六〇〇cc（三、三合） | 三月下旬／四月上旬 |
| 梨 | 赤星病 | クロン五二、五瓦（一四匁） | 〃 |
| 桃類 | 縮葉病 | 〃二立五七〇cc（一升四合） | 二月下旬 |
| 梅 | 黒星病 | クロン八〇瓦（二四匁） | 〃 |
| 梅 | 黒星病 | 〃二立五七〇cc（一升四合） | 十二月下旬～一月上旬 |
| 梅 | 黒星病 | クロン九三、八瓦（二五匁） | 〃 |
| ぶどう | 黒痘病 | 〃二二五cc（一合三勺） | 三月下旬 |
| ぶどう | 褐斑病 | クロン五二、五瓦（一四匁） | 四月上旬 |
| 柿 | 黒星病 | 〃二立五七〇cc（一升四合） | 三月下旬 |
| 柿 | 炭疽病 | クロン九三、八瓦（二五匁） | 〃 |

【注意】調合はクロン、硫黄合剤、展着剤の順に入れて下さい。（逆にすると溶けません）

【問】落葉果樹に対するクロン剤ではどの様な病気が防除できますか。

【答】やはり石灰硫黄合剤のクロン加用で左記一覧表の通りです。

▼反当成分施用量

| 種類別 | 成分別 N | P | K |
|---|---|---|---|
| 早生温州 | 一一、二五k | 一五、〇〇 | 一一、二五 |
| 普通温州 | 一五、〇〇 | 一五、〇〇 | 一一、二五 |

▼配合率

| 品種別数量 / 種類別数量 | 普通温州 | 早生温州 |
|---|---|---|
| 千代田化成 | 七、五〇〇k（二貫） | 七 五〇〇k（二貫） |
| 大豆粕 | 二、六二五（〇、七） | 三、〇〇〇（〇、八） |
| 魚粕 | 六、〇〇〇（一、六） | 六、七五〇（一、八） |
| 菜種粕 | 四、五〇〇（一、二） | 四、八七三（一、三） |
| 骨粉 | 三、〇〇〇（〇、八） | 三、三七五（〇、九） |
| 硫酸加理 | 四、五〇〇（一、五） | 二、六二五（〇、七） |
| 計 | 三七、五〇〇（一〇、〇） | 三七、五〇〇（一〇、〇） |

## より完全なメートル法へ

### メートル法への道 No.11号

昭和34年（一九五九）は日本の産業、経済、文化、教育等にとつて、きわめて意義ぶかい年でありました

それは、中世以来混乱して来た計量単位制度が、国際的統一単位である「メートル法」に統一されることになつたからです。

ところで、日本が完全統一に踏み切つたこの事は、世界の単位系統一の歴史の上にも、特筆されるべきものであることはまちがいありません。

より早い完全なメートル法化の達成の為に、今までに残された古い習慣などを速やかにたち切り、再び、後退することのないように致し、より早く、「メートル法」になれましょう。

◎メートル法メモ

1グラムとは、摂氏4度の時1立方センチメートルの水の重さをいいます。

## 養蠶業

【問】桑園の作業で注意せねばならない事はどの様な事ですか。

【答】蘭価が安くなつても充分採算が取れる様反当収蘭量をふやすような仕事を目標として

1 老朽園の改植、補植を桑苗の安い時に行いましよう。

2 自家育苗により経費の支出を制根しましよう。

3 施肥を充分に（有機質も）施して下さい。

## メートル法換算表（体積の部）

1 mℓ（ミリリツトル）＝0.00554升＝1 cc

1 dℓ（デシリツトル）＝0.0554升＝100cc

1 ℓ（リツトル）＝0.554升＝1.000cc

1kℓ（キロリツトル）＝554.35升＝1m³

1 cm³（立方センチメートル）＝1cc＝0.0005升

1 立方デシリツトル＝100.000cc＝55.4升

1 m³（立方メートル）＝1000.000cc＝554.3升

1 勺 ＝ 0.018ℓ

1 合 ＝ 0.18ℓ

1 升 ＝ 1.8ℓ

1 斗 ＝ 18ℓ

1 石 ＝ 180ℓ

1 合 ＝ 0.00018m³

1 升 ＝ 0.00180m³

1 斗 ＝ 0.01804m³

1 石 ＝ 0.18039m³

## 募集

### 中伯地区計畫移住者

現今海外移民の問題が身近に感ぜられ、又世間の話題となりつゝあるとき先頃愛媛新聞にも七十余人の県人移民出発の状況が報道され、何かしらんブラジル等の移住地のことを、無意識又は意識してあれこれと想像されていることゝ思います。

この海内外移住に関して県並に本町としても人口問題、二、三男対策として大きく取上げている次第であります。

すから、移住について研究して見たいとか其の他移住条件等につき調査したいと考えられる時は遠慮なく役場産業課係へ問合せ下さることを御願いします。

只今五月迄各地から分益雇用移住者を募集しています。

くわしくは係へお問合せ下さい。

## ◇生活の知識◇

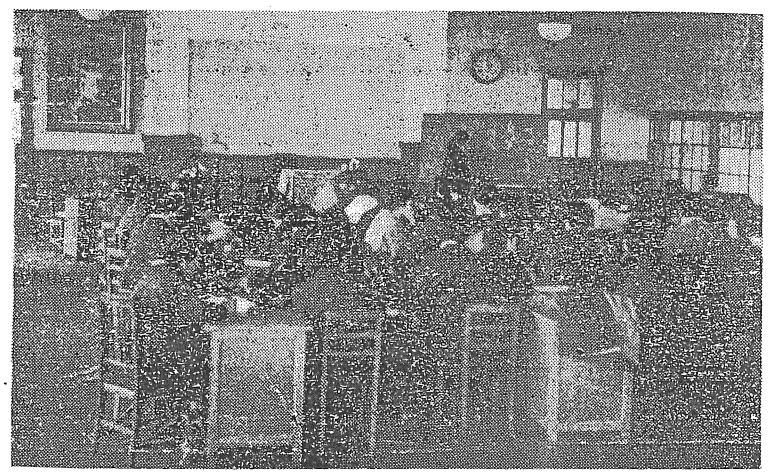
### ◇高血壓の人の食事◇

高血圧の人は食塩としよう油をとりすぎないことが第一で、特に食塩は一日五グラムからせグラムまでにおさえて下さい。

また肉食も制限し脂肪は必要以上とらないようにし食べすぎをつゝしみなるべく肥らないようにすることも大切です。

ごはんや、いも、砂糖のような糖質性の食品も普通の人の八割ぐらいに減す方がよく、食生活に十分気を配つて下さい。

## 新生活學校開校



去る一月十六日町役場の会議室で町内各地のお母さん等の新生活学校の開校式を致しました。これからは毎週金曜日に三月六日迄各専門家の講義を受けるわけです。家では誰もおさえ手のないかゝあ天下も……おつと失礼。一家の主婦も今日は生徒でしんみように講義をノートしています。（時には試験で少々あわてますがね）卒業したらどんな賢婦人になるか楽しみですね……

## 教員の年度末異動について

長浜町教育委員会

町民各位におかれましては日頃学校教育に多大の関心をもたれ物心両面共種々と御協力を賜り厚く御礼申上げます

扨て本年もまた教員異動の時節がまいりました。過去におきましても此の時期となりますとこの異動に関し巷間さまゞくな流言がとんでおつた様子でございますが教員異動の如き人事に関することは教育委員会の職務権限の重大なる部門を占めるものでありまして、それはあくまでも極秘のうちに行はるべき筋のものであります教育委員会は、此の点に立脚して人事行政を行いたいと考えております。

各位におかれましては巷間の無責任な言に迷はされることのないように持に御願い申上げます

## 「五分学校」

### ごうして栄養改善は必要か？

人間が活動するための源であり、国民生活のバロメーターとなる食生活水準は現在充分でなく、穀類に偏重している。

いまの日本の食生活水準は栄養的にみて充分とはいえないのですが、どうしたものか所得がふえても人々の関心は着る物や家具等にはしり、栄養の事は忘れがちです。

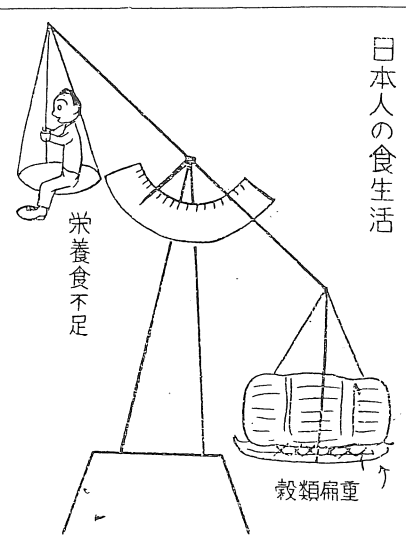
きれいな服装をし便利な家具を備え、レクリエーションを楽しむ事も私達の生活の一部として結構な事ですが、肝心体の事をおろそかにしたのでは健全な生活とは云えないでしよう。

今までの私達の食生活を反省してみると主食である米は口当りがよく、少しの塩味があればおいしく食べられるので、これだけで腹ごしらえする人が多いようです。即ち味覚本意、満腹主義の食生活で、これが主食偏重のもとになつて、いるのです。

私達は最近大分改善されたとはいえ必要な熱量や蛋白質を主に穀類からとつており、カロリー源として効率のよい脂肪や、動物性蛋白質のとり方が少いようです。

そのために体の要求する熱量や蛋白質を穀類からとる事になり、胃腸の負担を重くして病気の原因を作り胃腸病は国民病とさえいわれております。

我国は狭い国土に九千二百万もの人口をかゝえているので食糧の自給は困難です。ことに日本には、長い間米食の習慣があり、出来るだけ米を輸入しようとするために輸入金額が増し、負担を大きくしています。




日本人の食生活

だから私達は米への執着を捨てゝカロリー源を麦、いもによる事を心がけ、それに適用した副食物の研究が食生活改善の大きな問題となつてきます。

## 出生と死亡

一月届出分

▽出生

本下 保利 長女
三浦ミヨカ 女
宮岡 吉蔵 二女
笹田 孝一 長男
片島 透 二男
水本 正信 長男
浅田 辰雄 二女
三河 共市 三女
熊本 政芳 長女
田淵 勝賴 六男
森岡 満 長女
平家 満芳 二女
峯田喜佐男 二女
吉上 定男 長男
稲垣 広 長男
宝井 典隆 三男
参河亥四郎 長女
松田 宣昭 長女
山木 武美 長女
横畑松太郎 三女
二宮 勇 長女
西村 利秋 長女
山尾 雄志 長女
本庁
利恵 長女
いとみ 女
佳子 二女
美年 長男
俊幸 二男
英幸 長男
美恵 二女
弥生 三女
信子 長女
正頼 六男
美千代 長女
芳子 二女
喜多灘ひさえ 二女
秀彰 長男
茂 長男
櫛生
実
出海美佐恵 長女
大和聰子 長女
里美 長女
照美 三女
和子 長女
里美 長女
和子 長女
白滝真由美操
小西利勝 長女
平田吉辰 長女
宮下幾夫 二男
清水三寿栄 長女
一宮泰忠 二女
松田忠重 長男
上満和直 二男
西山岩太 長女
窪利則 長女
本庁
西岡垣成 二女
小川幾喜
井上輝彦
島田辨次郎
竹本トキ子
山本笹市
上田留吉
満野政栄
宮内ヒデ
櫛生
沢井幸彦
山下カヨ
出海
山下光子
大和
大本天留恵
白滝
藤淵ヨシエ
門田ヨシエ
久保実則
平田一彦

▽死亡